



まこと館だより



Est. 1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局

理事長閑話 うめ草 (28)

法人で障害領域の事業「ワークセンターまことくらぶ」施設長阿久津嘉代子さんが、やまゆり園事件に関して思いを寄せて下さいました。法人のこれからの事業展開として、障害領域の取り組みが法人中長期計画に明示されています。法人にとって今後注力していく事業であることを確認しながら法人職員の理解と協力そして参加を期待します。

理事長 橋本正明

相模原障害者施設殺傷事件発生から 1 年が経過して思うこと

ワークセンター・まことくらぶ施設長 阿久津 嘉代子

～前略～

障害は不幸であり、障害のある当事者や家族の個人的な問題であると考えられた社会があり、そこから「知らない、分らないがゆえの差別」や、その存在すら否定されてしまう時代がついこの前まであった。障害についての差別的な考え方が今でも深く大きく存在していることを再認識させられた。

至誠学舎立川で障害福祉に携わっているものとして、これまで以上に障害について発信をしていくこと、障害への無関心や知らないが故の偏見差別をなくしていくことが大きな役割であると事件から 1 年を経て改めて考えた。まずはワークセンター「まことくらぶ」に関わる様々な人への発信、そして法人全体への発信をしていくことが必要であると考えます。障害のことを法人の様々な人に知ってもらいたい。障害のある人のことを知る、その家族、関係者のことを知る、またその制度を知る等障害のある方への私たちの支援や取り組みについて伝えていきたい。差別や偏見はより弱いもの、より立場の低いものへ行きやすい。支援する私たちはとすれば利用者に対して差別や偏見を感じさせるようなことをしていないか。私達はこのことをしっかり意識し日々支援にあたっている。

法人中長期計画で示されている障害福祉のことを、法人の今後の重要なサービスの柱として取り組んで行きたい。そして障害があってもなくても一人ひとりが当たり前生きてよい社会とはどんなものか、日々の活動を通して考えを深めていきたい。

(2017 年 8 月)

事業本部長メッセージ

「不在者投票指定施設」って知ってますか？

「暑い夏を過ぎれば、実りの秋が来ーる♪」というフレーズが流行歌にありますが、この秋は突然の衆議院解散を受けて「実りの秋」ではなく、走り回る議員の先生や私たち国民一同季節を飛び越した「師走」のような「混乱の秋」を呈してしまいました。

各地で投開票の日取りとお祭りをはじめとした地域行事が重なってしまい「困惑」との記事も目立ちます。選挙に関連したお話ですが、実は至誠ホームのいくつかの生活施設は、公職選挙法による「不在者投票指定施設」になっています。児童や保育部門では考えづらいと思いますが、ひとたび選挙となると投票所に行けない利用者が施設で投票できるように、煩雑で日に追われた事務作業が噴出するのです。一人一人の投票の意思確認、投票用紙の請求・受け取り、投票用具の借り受け、立会人や投票代理人の選任、日程の確定、不在者投票の実施、報告、請求などなどです。通常選挙は任期がわかっているのでスケジュールをたてることができますが、この度のように突然の解散・選挙はこたえます。しかし利用者の貴重な選挙権は断じて護ります。社会福祉施設として。

高齢事業本部長 旭 博之

事業本部情報

◆児童事業本部◆

今年も元気いっぱいの運動会が行われます。東京立川ライオンズクラブ様のご支援のもと「一日里親の集い」として恒例の行事となりました。一生懸命に練習を重ねた子ども達の晴れ姿をぜひ応援しにご来園いただけますようお願いしております。

さて、まことくらぶでは、秋の「バスの旅」として東京ディズニーランドや鴨川シーワールド等二泊三日の宿泊行事を無事に終えることができました。まことくらぶ会員の皆様は楽しい旅行となりました。スタッフの皆様大変お疲れ様でした。児童事業本部では障害福祉サービス事業としてグループホームの開設準備や、児童養護施設のグループホームの増設等準備が少しずつ始まっております。

今年度も半年経過し後半に向けて計画の見直しと予算執行状況から、事業計画に即した確実な運営をおこないます。今後ともよろしく願いいたします。(櫻井 壽)

◆保育事業本部◆

9月～10月にかけて運動会が行われています。運動会は保育園生活の中で積み重ねてきたことや大切にしてきたことを表現する場所であり、お子さまの意欲や主体性を大切にしながら展開し、心も体も大きく成長します。さらに保護者の方々に保育の意図やお子さまの様子を伝え、皆さんと共感しながら保育を向上させていくことを大切にしています。あと、大切なのは当日のお天気です。皆さんの気持ちが天に通じて楽しい一日になりますように。

先日、元同僚とお話する機会がありました。彼女は幼少期にお父様が他界されて30年、月命日に必ずお墓を訪れているそうです。そのお墓の傍に、当法人の創設者のお墓があり手を合わせているということです。凄い縁ですね。創設者は、彼女の人を大切に思う気持ちを感じ、至誠学舎に必要な人だと繋げてくださったのでしょうか。秋分の日聞いた素敵なお話でした。(長谷川育代)

◆高齢事業本部至誠ホーム◆

10月、手帖はスケジュールが一杯です。懸案であった至誠特養の大規模改修工事が始まります。建物は40年の歴史を経て、いろいろくたびれてきているんです。5年ほど前にキュービクル(受変電設備)の入れ替えを行いました。耐震改修工事も終えましたが、給水管排水管の改修が急がれます。先日は1階の給湯室の天井から水漏れがあったり、各フロアで様々な水のトラブルが発生しました。今般の大規模改修工事では給水管排水管をはじめ、防水工事などいくつかのリニューアルを行います。今月から来年8月までかかります。終了するといよいよ4人部屋が全て二人部屋に衣替えです。

31年4月開設予定の錦町二丁目特養建設についても9月末の理事会を経て11月には建設会社の入札があり12月から工事着工です。この二つの工事の関連スケジュールで一杯です。

更に、東南アジアを中心に外国人の方々を留学生と技能実習生等でこれまで以上に来てもらう動きがあり、私たちもいくつかのルートを考えています。こちらの調整もあります。

いや何と言っても今月は14日に至誠合同バザーがあります。昨年は雨で少し大変でした。今年は至誠ホームケアプラザの雨天対応の場所もあり準備は万全です。期待して下さい。(金井裕一)

本部事務局だより

9月に発生した台風18号は、日本列島をなぞるように進み、観測史上初めて北海道・本州・四国・九州の4島に上陸した台風だそうです。各地で大きな被害をもたらしましたが、我が家では植木鉢が転げ落ち割れただけで済みましたが、昔、新築マンションの1階に住んでいたとき、台風で大水が出て床下まで浸水し、あわやと思ったことがありました。付近に川は無かったので驚きましたが、実はその地は窪地だったため水が押し寄せたのです。その後、現在の地(高尾)に移り住んだ時、ハザードマップを確認した所、過去に洪水になった記録があり、今も台風のたびに心配しています。今年の台風予測は27個だそうですから、まだ何個かは日本に上陸すると思われるので、皆さんもご自宅のハザードマップを確認すると共に、台風が来る前に風で吹き飛ばされそうな植木鉢・ゴミ箱等が無い点検するなど備えておきましょう。(野島忠幸)

<編集後>朝夕涼しくなりましたが、日中は動くともまだ汗がにじむ季節の変わり目に、体調を崩すこともありますので、ここで気を引き締め、冬に備えたいと思います。